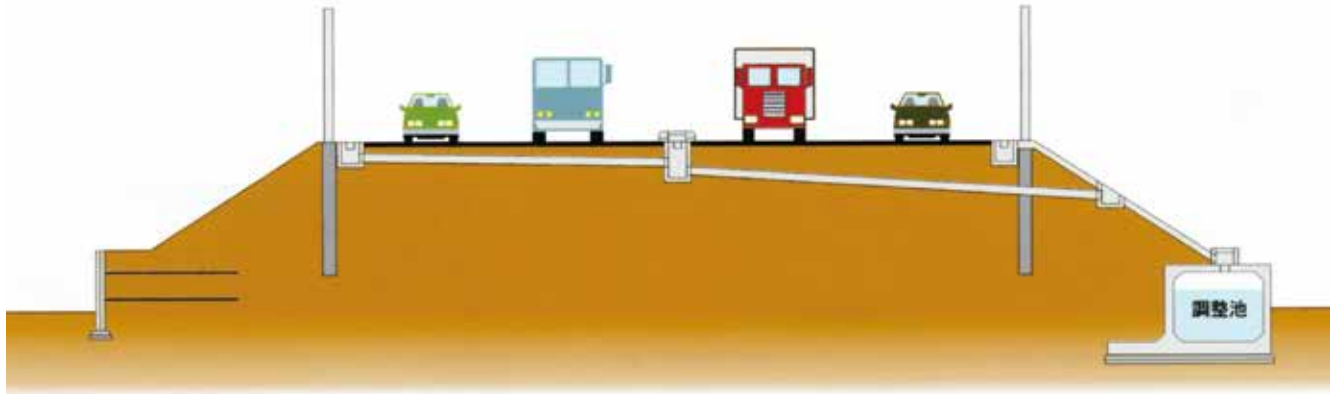


片持ばり式調整池



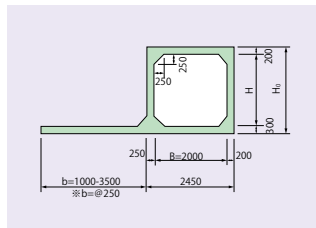
特長

- 道路用地内に調整池を設置できるため、調整池の用地買収の必要がありません。
- 構造が地下式でないため、維持管理が容易に行えます。
- 調整池を道路本線外のり面に設置できるため、遮音壁基礎、地下埋設物の影響がありません。
- 高さ調整が容易なため、流末排水路の河床高の影響がありません。
- 調整池の上部を管理用道路に利用できるため、側道側より搬入路を付けて、維持管理が行えます。
- プレキャスト構造のため、品質管理にすぐれ、工期短縮が可能です。
- 側道側の壁面を化粧模様にして、景観を考慮することもできます。

種別

I . 2000 タイプ

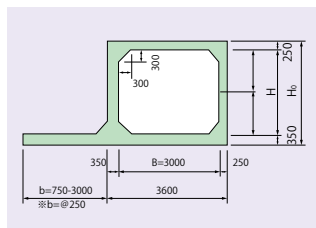
- ① a) [標準部] 2000B×2000H×1500L
b) [放流部] 2000B×2500H×1500L



I . 2000タイプ					
種別	容量(m当たり)	H	H ₀	重量	
① 標準部	(0.8H) 3.13m ³	2,000	2,500	9,680~12,490kg	
① 放流部	(0.8H) 3.13m ³	2,500	3,000	10,520~13,340kg	

II . 3000 タイプ

- ① a) [標準部] 3000B×2500H×1000L
3000B×2500H×1500L
b) [放流部] 3000B×3000H×1500L (2分割)



II . 3000タイプ					
種別	容量(m当たり)	H	H ₀	重量	
① 標準部	(0.8H) 5.91m ³	2,500	3,100	10,370~12,340kg 15,550~18,510kg	
① 放流部	(0.8H) 5.91m ³	3,000	3,600	16,680~19,630kg	

片持ばり式調整池施工例

